

# ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

## 運用報告書 (全体版) 第15期

(決算日 2025年12月10日)

(作成対象期間 2025年6月11日~2025年12月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2018年6月11日~2028年6月9日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2752>  
<2753>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
11期末(2023年12月11日)	円 8,212	円 100	% 1.6	14,806	% 5.5	% -	% 99.1	百万円 2,018
12期末(2024年6月10日)	8,255	50	1.1	16,987	14.7	0.0	99.3	1,775
13期末(2024年12月10日)	8,739	450	11.3	18,749	10.4	0.0	98.7	1,515
14期末(2025年6月10日)	8,677	200	1.6	19,404	3.5	0.0	99.1	1,371
15期末(2025年12月10日)	8,286	0	△ 4.5	21,980	13.3	0.0	99.0	1,160

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

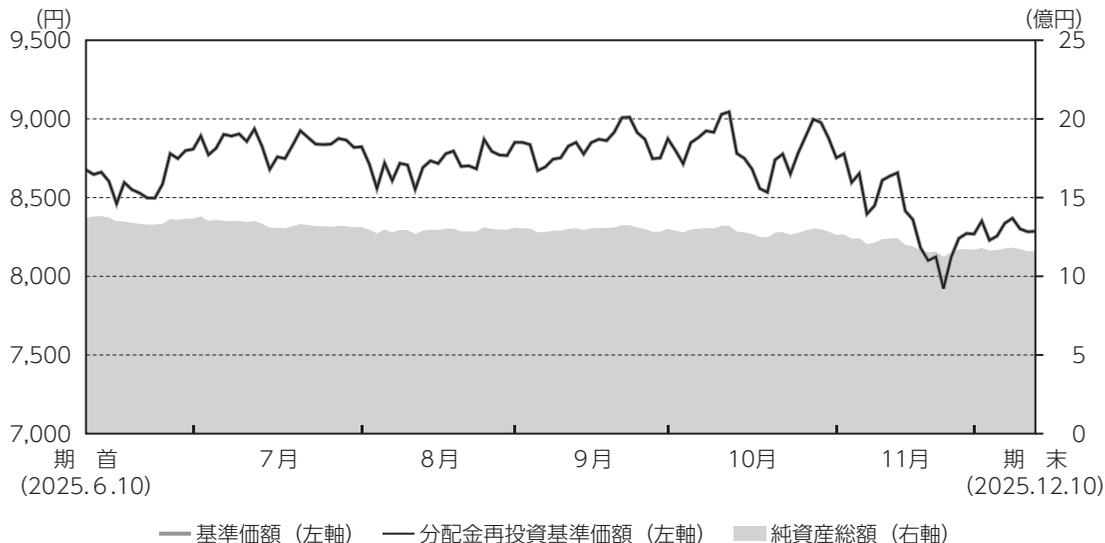
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：8,677円

期末：8,286円（分配金0円）

騰落率：△4.5%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主として米国や欧州の決済関連銘柄などの保有株式が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年 6月10日	円 8,677	% -	19,404	% -	% 0.0	% 99.1
6 月末	8,808	1.5	19,876	2.4	0.0	99.3
7 月末	8,823	1.7	20,317	4.7	0.0	99.4
8 月末	8,851	2.0	20,818	7.3	0.0	98.9
9 月末	8,874	2.3	21,372	10.1	0.0	99.3
10月末	8,753	0.9	21,922	13.0	0.0	98.9
11月末	8,269	△4.7	21,846	12.6	0.0	99.0
(期末) 2025年12月10日	8,286	△4.5	21,980	13.3	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2025.6.11~2025.12.10)

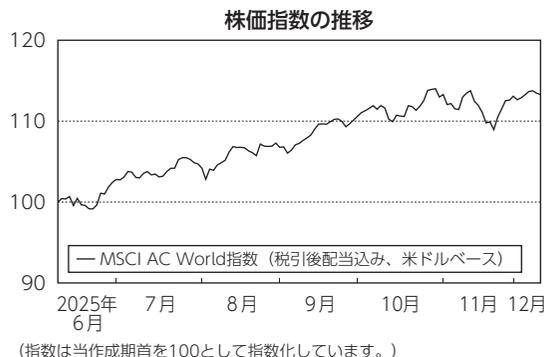
### ■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、当作成期首比で上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、米国の労働市場が軟化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まったことなどが好感され、上昇基調で推移しました。2025年7月以降も、米国の各国に対する相互関税が引き下げられるなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬のF R Bの利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。10月下旬にかけても、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引しました。11月に入り、米国政府機関の一部閉鎖の影響や米国の利下げ観測の後退などが嫌気されて下落しましたが、同月下旬には再度利下げ観測が高まったことを好感し、反発して当作成期末を迎えました。

なお、当作成期においては、A I・半導体関連企業が株式市場の上昇をけん引し、セクター別では情報技術やコミュニケーション・サービスなどの上昇幅がより大きくなった一方で、当ファンドでは米国や欧州の決済関連銘柄などの一部保有株式が下落したことにより、株式ポートフォリオのリターンはマイナスとなりました。

なお、当作成期においては、A I・半導体関連企業が株式市場の上昇をけん引し、セクター別では情報技術やコミュニケーション・サービスなどの上昇幅がより大きくなった一方で、当ファンドでは米国や欧州の決済関連銘柄などの一部保有株式が下落したことにより、株式ポートフォリオのリターンはマイナスとなりました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

### ■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

## ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、ポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざしてまいります。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2025.6.11~2025.12.10)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」を高位に組み入れました。

### ■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、米国の金融プラットフォームを提供するロビンフッド・マーケットなどを組み入れました。

個別銘柄については、業績の見通しを引き下げた決済サービス会社のファイサーブなどを全売却しました。一方で、新興市場向けの越境決済処理サービスを提供するディーローカルや、ステーブルコインを発行・管理するサークル・インターネット・グループなどを新規に組み入れました。

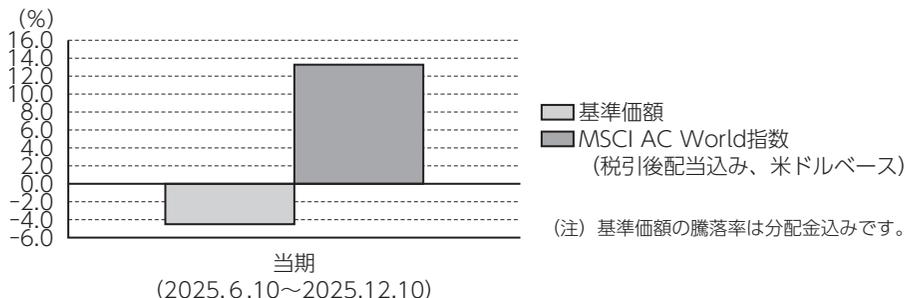
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2025年6月11日 ～2025年12月10日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（%）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,384

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、ポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざしてまいります。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025.6.11~2025.12.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0.617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,690円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0.622	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

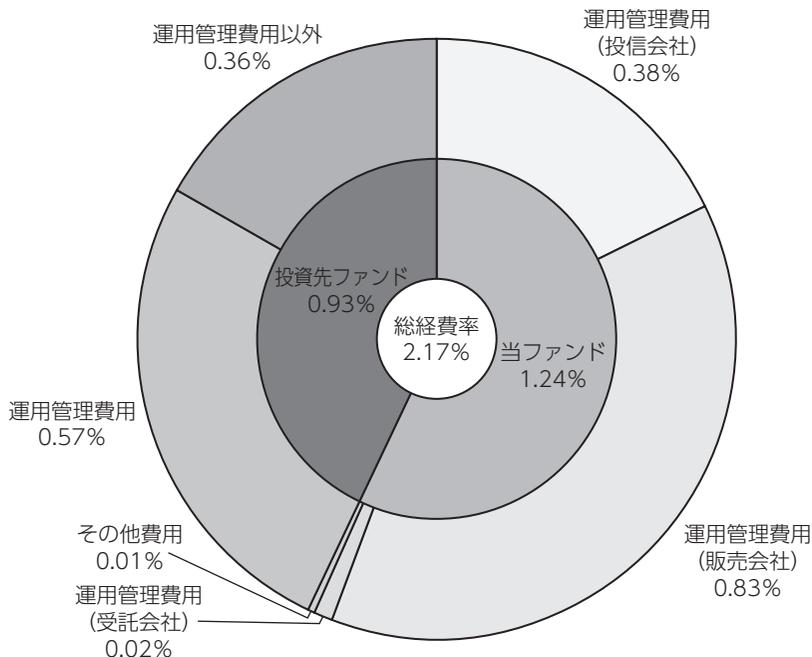
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.17%です。



総経費率 (①+②+③)	2.17%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.36%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

（2025年6月11日から2025年12月10日まで）

銘柄	柄	買付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	千口 8,041.818	千円 10,000	千口 140,494.596	千円 175,000

（注1）金額は受渡し代金。  
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2025年6月11日から2025年12月10日まで）

決算期	当 期					
区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	うち利害関係人との取引状況 D	D/C		
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	282,191	12,768	4.5	—	—	—
コール・ローン	10,746,217	—	—	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	959,594.91	1,148,059	99.0

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千円 0	千口 0	千円 1

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,148,059	% 97.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	30,697	2.6
投資信託財産総額	1,178,757	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,178,757,458円
コール・ローン等	30,697,106
投資信託受益証券(評価額)	1,148,059,350
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,002
(B) 負債	18,596,404
未払解約金	10,603,693
未払信託報酬	7,939,630
その他未払費用	53,081
(C) 純資産総額(A - B)	1,160,161,054
元本	1,400,070,057
次期繰越損益金	△ 239,909,003
(D) 受益権総口数	1,400,070,057口
1万口当り基準価額(C/D)	8,286円

\*期首における元本額は1,581,157,032円、当作成期間中における追加設定元本額は17,725,152円、同解約元本額は198,812,127円です。  
\*当期末の計算口数当りの純資産額は8,286円です。  
\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は239,909,003円です。

■損益の状況

当期 自2025年6月11日 至2025年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	42,845円
受取利息	42,845
(B) 有価証券売買損益	△ 46,729,311
売買益	3,541,886
売買損	△ 50,271,197
(C) 信託報酬等	△ 7,992,711
(D) 当期繰越損益金(A + B + C)	△ 54,679,177
(E) 前期繰越損益金	△257,996,055
(F) 追加信託差損益金	72,766,229
(配当等相当額)	( 99,961,551)
(売買損益相当額)	(△ 27,195,322)
(G) 合計(D + E + F)	△239,909,003
次期繰越損益金(G)	△239,909,003
追加信託差損益金	72,766,229
(配当等相当額)	( 99,961,551)
(売買損益相当額)	(△ 27,195,322)
分配準備積立金	93,946,499
繰越損益金	△406,621,731

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	99,961,551
(d) 分配準備積立金	93,946,499
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	193,908,050
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	193,908,050
(h) 受益権総口数	1,400,070,057口

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
11期末(2023年12月11日)	円 10,935	円 850	% 9.3	19,677	% 10.0	% -	% 99.1	百万円 13,230
12期末(2024年6月10日)	11,509	700	11.7	24,378	23.9	0.0	99.1	12,614
13期末(2024年12月10日)	11,861	800	10.0	25,968	6.5	0.0	99.1	11,585
14期末(2025年6月10日)	11,932	50	1.0	25,665	△ 1.2	0.0	99.1	10,944
15期末(2025年12月10日)	12,225	350	5.4	31,517	22.8	0.0	99.0	10,007

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

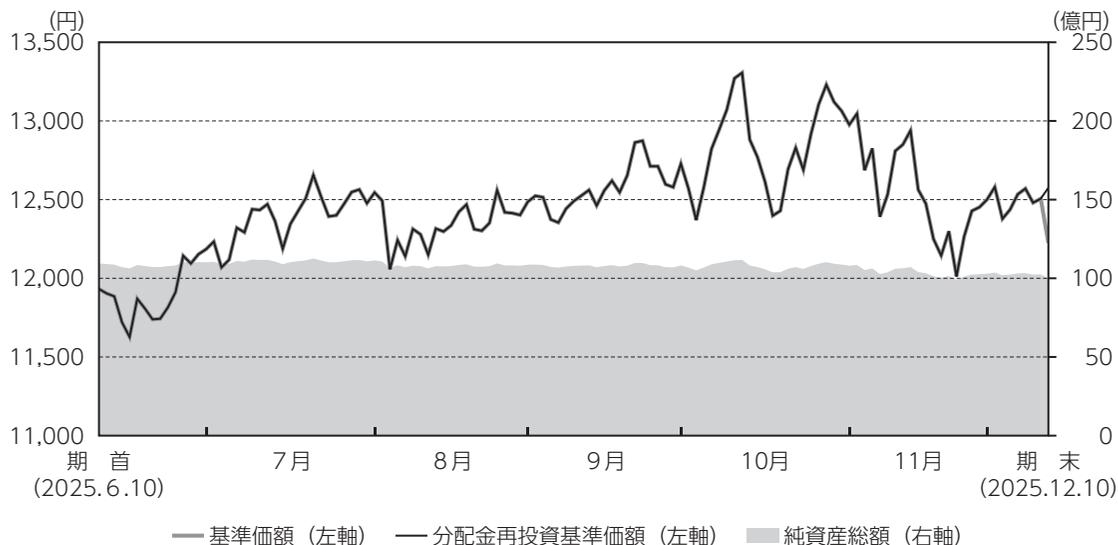
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,932円

期末：12,225円（分配金350円）

騰落率：5.4%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、米国や欧州の決済関連銘柄などの保有株式が下落したことがマイナス要因となった一方で、主として為替相場で米ドルが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年 6月10日	円 11,932	% -	25,665	% -	% 0.0	% 99.1
6 月末	12,185	2.1	26,307	2.5	0.0	99.5
7 月末	12,545	5.1	27,742	8.1	0.0	99.0
8 月末	12,486	4.6	27,955	8.9	0.0	99.2
9 月末	12,728	6.7	29,083	13.3	0.0	99.5
10月末	12,976	8.7	30,877	20.3	0.0	99.4
11月末	12,501	4.8	31,275	21.9	0.0	99.1
(期末) 2025年12月10日	12,575	5.4	31,517	22.8	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2025.6.11~2025.12.10)

### ■グローバル株式市況

グローバル株式市況は、当作成期首比で上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、米国の労働市場が軟化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まったことなどが好感され、上昇基調で推移しました。2025年7月以降も、米国の各国に対する相互関税が引き下げられるなど通商交渉が進展したことに加え、9月中旬のF R Bの利下げ決定などが、株価の上昇を促しました。10月下旬にかけても、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引しました。11月に入り、米国政府機関の一部閉鎖の影響や米国の利下げ観測の後退などが嫌気されて下落しましたが、同月下旬には再度利下げ観測が高まったことを好感し、反発して当作成期末を迎えました。

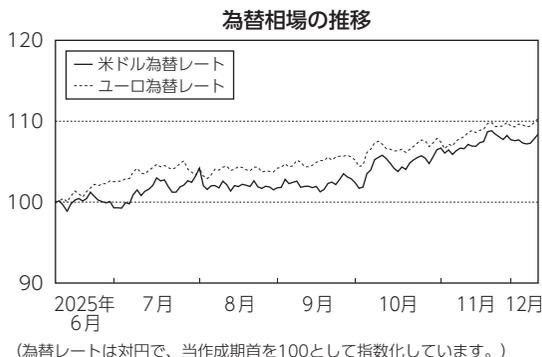
なお、当作成期においては、A I・半導体関連企業が株式市場の上昇をけん引し、セクター別では情報技術やコミュニケーション・サービスなどの上昇幅がより大きくなった一方で、当ファンドでは米国や欧州の決済関連銘柄などの一部保有株式が下落したことにより、株式ポートフォリオのリターンはマイナスとなりました。



### ■為替相場

為替相場は、米ドル、ユーロともに対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化などから上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安となりました。2025年7月以降も、米国の利下げ期待が後退したことなどから、円安基調が継続しました。しかし8月初旬には、米国の軟調な雇用統計などを受けて同国の利下げ期待が高まったことで金利差縮小が意識され、急速に円高となりました。その後はおおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月以降は、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の



継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行して当作成期末を迎えました。ユーロもおおむね米ドルと同様の推移となり、対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

### ■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、ポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざしてまいります。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

**■当ファンド**

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」を高位に組み入れました。

**■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）**

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、米国の金融プラットフォームを提供するロビンフッド・マーケットなどを組み入れました。

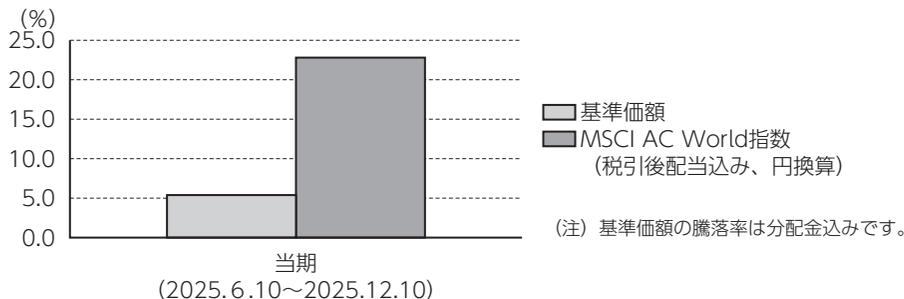
個別銘柄については、業績の見通しを引き下げた決済サービス会社のファイサーブなどを全売却しました。一方で、新興市場向けの越境決済処理サービスを提供するディーローカルや、ステーブルコインを発行・管理するサークル・インターネット・グループなどを新規に組み入れました。

**■ダイワ・マネースtock・マザーファンド**

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年6月11日 ～2025年12月10日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)		<b>350</b>
対基準価額比率 (%)		2.78
当期の収益 (円)		350
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		2,266

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.37円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	642.32
(c) 収益調整金		410.37
(d) 分配準備積立金		1,563.58
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,616.65
(f) 分配金		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,266.65

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、ポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざしてまいります。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.6.11~2025.12.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0.618%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,465円です。
（投 信 会 社）	(24)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(52)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	77	0.622	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

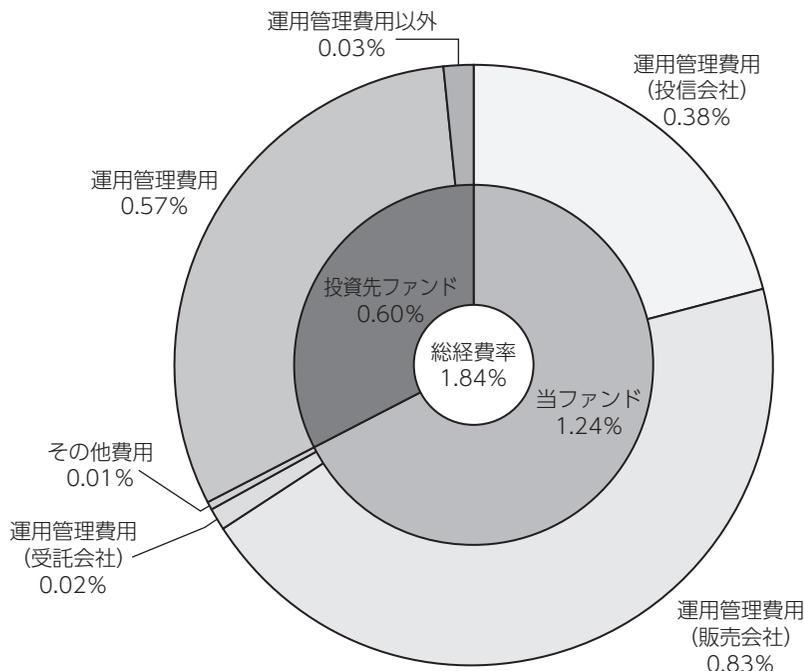
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率 (①+②+③)	1.84%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

（2025年6月11日から2025年12月10日まで）

銘柄	柄	買付		売付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 -	千円 -	千口 778,477.496	千円 1,580,000

（注1）金額は受渡し代金。  
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

（2025年6月11日から2025年12月10日まで）

決算期	当 期					
区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人との取引状況 D	
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	うち利害関係人との取引状況 D		D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	282,191	12,768	4.5	-	-	-
コール・ローン	10,746,217	-	-	-	-	-

（注）平均保有割合0.0%  
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ I M・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	千口 4,813,012.778	千円 9,909,030	% 99.0

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千円 0	千口 0	千円 1

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,909,030	% 95.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	492,709	4.7
投資信託財産総額	10,401,741	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,401,741,205円
コール・ローン等	492,709,496
投資信託受益証券(評価額)	9,909,030,707
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,002
(B) 負債	394,737,030
未払収益分配金	286,509,052
未払解約金	41,334,954
未払信託報酬	66,448,151
その他未払費用	444,873
(C) 純資産総額(A - B)	10,007,004,175
元本	8,185,972,918
次期繰越損益金	1,821,031,257
(D) 受益権総口数	8,185,972,918口
1万口当り基準価額(C/D)	12,225円

\*期首における元本額は9,173,068,269円、当作成期間中における追加設定元本額は13,742,062円、同解約元本額は1,000,837,413円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は12,225円です。

■損益の状況

当期 自2025年6月11日 至2025年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	346,156円
受取利息	346,156
(B) 有価証券売買損益	592,660,732
売買益	647,911,370
売買損	△ 55,250,638
(C) 信託報酬等	△ 66,893,024
(D) 当期損益金(A + B + C)	526,113,864
(E) 前期繰越損益金	1,279,943,908
(F) 追加信託差損益金	301,482,537
(配当等相当額)	( 335,927,923)
(売買損益相当額)	(△ 34,445,386)
(G) 合計(D + E + F)	2,107,540,309
(H) 収益分配金	△ 286,509,052
次期繰越損益金(G + H)	1,821,031,257
追加信託差損益金	301,482,537
(配当等相当額)	( 335,927,923)
(売買損益相当額)	(△ 34,445,386)
分配準備積立金	1,519,548,720

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	306,020円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	525,807,844
(c) 収益調整金	335,927,923
(d) 分配準備積立金	1,279,943,908
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,141,985,695
(f) 分配金	286,509,052
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,855,476,643
(h) 受益権総口数	8,185,972,918口

<b>収 益 分 配 金 の お 知 ら せ</b>	
<b>1 万 口 当 り 分 配 金 ( 税 込 み )</b>	<b>350円</b>

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2025年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年12月10日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2025年6月11日から2025年12月10日まで)

買			付			売			付		
銘	柄	金額	銘	柄	金額	銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円			千円			千円
1324国庫短期証券	2025/11/10	42,456,310									
1343国庫短期証券	2026/2/16	40,949,406									
1337国庫短期証券	2026/1/19	32,658,667									
1340国庫短期証券	2026/2/2	30,962,304									
1341国庫短期証券	2026/2/9	28,066,195									
1322国庫短期証券	2025/11/4	27,971,020									
1325国庫短期証券	2025/11/17	24,972,600									
1318国庫短期証券	2025/10/14	22,480,525									
1315国庫短期証券	2025/9/29	18,906,718									
1303国庫短期証券	2025/8/4	12,768,159									

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年12月10日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（204,036,719千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2025年12月10日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 132,800,000	千円 132,704,935	% 64.8	% -	% -	% -	% -	% 64.8

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年12月10日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1337国庫短期証券		% -	千円 32,700,000	千円 32,682,955	2026/01/19	
	1340国庫短期証券		% -	31,000,000	30,978,344	2026/02/02	
	1341国庫短期証券		% -	28,100,000	28,078,741	2026/02/09	
	1343国庫短期証券		% -	41,000,000	40,964,893	2026/02/16	
合 計	銘 柄 数 金 額	4銘柄		132,800,000	132,704,935		

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第16期 (決算日 2025年12月9日)

(作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

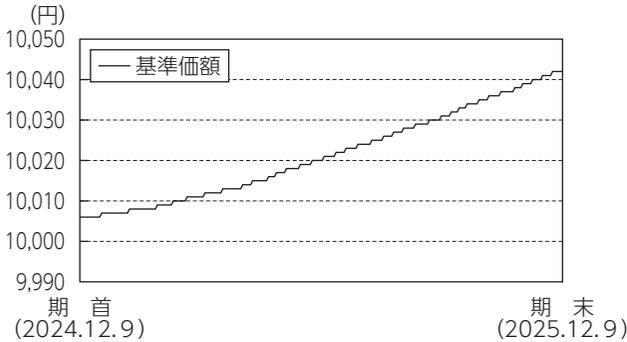
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2024年12月9日	円	%	%
12月 末	10,007	0.0	69.8
2025年1月 末	10,008	0.0	69.8
2月 末	10,010	0.0	60.8
3月 末	10,013	0.1	60.0
4月 末	10,015	0.1	51.4
5月 末	10,019	0.1	59.8
6月 末	10,023	0.2	59.4
7月 末	10,026	0.2	59.1
8月 末	10,030	0.2	60.1
9月 末	10,034	0.3	55.1
10月 末	10,037	0.3	70.5
11月 末	10,041	0.3	72.9
(期末)2025年12月9日	10,042	0.4	64.7

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,006円 期末：10,042円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		460,355,293	32,086,550 (430,600,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当		期			
買	付	売	付		
銘	柄	銘	柄		
		金 額	金 額		
		千円	千円		
1277	国庫短期証券 2025/3/31	43,884,327	1231	国庫短期証券 2025/5/20	32,086,550
1324	国庫短期証券 2025/11/10	42,456,310			
1305	国庫短期証券 2025/8/12	42,359,507			
1343	国庫短期証券 2026/2/16	40,949,406			
1296	国庫短期証券 2025/6/30	35,369,131			
1337	国庫短期証券 2026/1/19	32,658,667			
1340	国庫短期証券 2026/2/2	30,962,304			
1341	国庫短期証券 2026/2/9	28,066,195			
1322	国庫短期証券 2025/11/4	27,971,020			
1303	国庫短期証券 2025/8/4	26,054,513			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期 区分	当 期			末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B 格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	132,800,000	132,703,244	64.7	—	—	—	64.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	額 面 金 額	評 価 額
		%	千円	千円		償還年月日
国債証券	1337国庫短期証券	—	32,700,000	32,682,529		2026/01/19
	1340国庫短期証券	—	31,000,000	30,977,943		2026/02/02
	1341国庫短期証券	—	28,100,000	28,078,393		2026/02/09
	1343国庫短期証券	—	41,000,000	40,964,377		2026/02/16
合計	銘柄数 金額	4銘柄	132,800,000	132,703,244		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	132,703,244	64.7		
コール・ローン等、その他	72,294,456	35.3		
投資信託財産総額	204,997,700	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	204,997,700,368円	
コール・ローン等	72,294,456,353	
公社債(評価額)	132,703,244,015	
(B) 負債	—	
(C) 純資産総額(A - B)	204,997,700,368	
元本	204,130,644,571	
次期繰越損益金	867,055,797	
(D) 受益権総口数	204,130,644,571口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,042円	

\* 期首における元本額は239,423,796,545円、当作成期間中における追加設定元本額は443,018,350,908円、同解約元本額は478,311,502,882円です。  
 \* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック 1,268円  
 ダイワ/ミレニアセット・インド株ファンド - インドの匠 1,270円  
 ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円  
 ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円  
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 1,849円  
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) 1,985円  
 - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり)  
 i Freeレバレッジ S & P 500 10,594,492,058円  
 i Freeレバレッジ NASDAQ100 131,022,793,738円  
 クリーンテック株ファンド (資産成長型) 1,802円  
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円  
 世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 1,501円  
 i FreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス 5,075,253,288円  
 i FreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス 4,076,800,989円  
 i FreeETF TOPIXレバレッジ (2倍) 指数 1,788,504,305円  
 i FreeETF TOPIXダブルインバース (-2倍) 指数 640,407,643円  
 i FreeETF 日経平均インバース・インデックス 5,059,702,292円  
 i FreeETF TOPIXインバース (-1倍) 指数 7,911,533,868円  
 i FreeETF JPX日経400ダブルインバース・インデックス 79,873,923円  
 i FreeETF S & P 500レバレッジ 977,167,177円  
 i FreeETF S & P 500インバース 2,285,058,968円  
 ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S/Lトレード 5,039,566円  
 ブル3倍日本株ポートフォリオ6 19,300,063,267円  
 ベア2倍日本株ポートフォリオ6 11,789,858,577円  
 3,512,508,363円  
 ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ 11,569,330円  
 ダイワ/ミレニアセット亜細亜株ファンド 1,148円  
 ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) 1,588円  
 ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド 1,813円  
 \* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,042円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	705,454,602円
受取利息	705,454,602
(B) 有価証券売買損益	△ 7,808,839
売買益	837
売買損	△ 7,809,676
(C) 当期損益金(A + B)	697,645,763
(D) 前期繰越損益金	138,942,634
(E) 解約差損益金	△960,649,455
(F) 追加信託差損益金	991,116,855
(G) 合計(C + D + E + F)	867,055,797
次期繰越損益金(G)	867,055,797

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。

**■当ファンドの仕組みは次の通りです。**

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2050年7月15日まで	
運用方針	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ペビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ペビーファンドの運用方法	1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。	2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。
	3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	3. 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。 ※一部の通貨については、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。
	4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。	
	2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。 ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強靭な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。	
	3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。	
	4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッド*に運用の指図に関する権限を委託します。 *（2024年11月1日よりアクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリから変更されました。）	
	5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
	6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	ペビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。	
	①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利益、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし／為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

## 運用報告書（全体版）

第15期（決算日 2025年11月10日）

### 受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし／為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、このたび第15期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社  
 東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階  
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》

電話番号：03-5447-3160

受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分	み 配 金		
	円	円	%	%	百万円
11期(2023年11月10日)	14,296	0	6.9	94.7	19,189
12期(2024年5月10日)	17,361	0	21.4	95.9	17,614
13期(2024年11月11日)	19,079	0	9.9	97.4	15,442
14期(2025年5月12日)	18,512	0	△ 3.0	96.8	13,466
15期(2025年11月10日)	20,490	0	10.7	97.4	13,399

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入比率
	騰落率	率	
(期首) 2025年5月12日	円	%	%
5月末	18,868	1.9	95.6
6月末	19,826	7.1	98.4
7月末	20,438	10.4	96.8
8月末	20,360	10.0	97.1
9月末	20,780	12.3	96.1
10月末	21,218	14.6	97.0
(期末) 2025年11月10日	20,490	10.7	97.4

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		
11期(2023年11月10日)	円 9,695	円 0	% △ 6.1	% 96.0	百万円 1,894
12期(2024年5月10日)	11,088	0	14.4	96.5	1,850
13期(2024年11月11日)	12,051	0	8.7	97.2	1,629
14期(2025年5月12日)	11,888	0	△ 1.4	99.1	1,372
15期(2025年11月10日)	12,190	0	2.5	97.5	1,205

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2025年5月12日	円 11,888	% —	% 99.1
5月末	12,219	2.8	96.5
6月末	12,653	6.4	96.3
7月末	12,688	6.7	97.8
8月末	12,743	7.2	96.2
9月末	12,790	7.6	95.0
10月末	12,628	6.2	96.7
(期末) 2025年11月10日	12,190	2.5	97.5

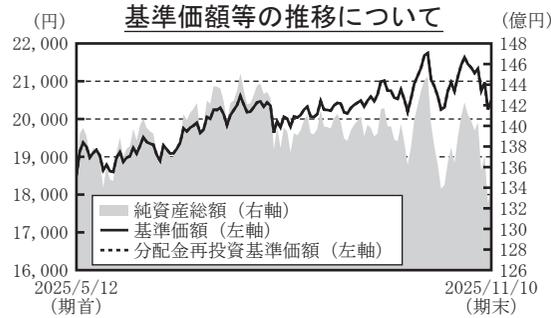
(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

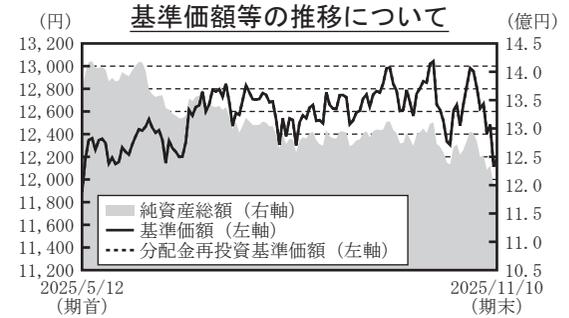
■当期の運用状況（2025年5月13日～2025年11月10日）

為替ヘッジなし



期首：18,512円  
 期末：20,490円（既払分配金0円）  
 騰落率：10.7%（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期首：11,888円  
 期末：12,190円（既払分配金0円）  
 騰落率：2.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし

当期は、主として米国で保有している株式の株価が上昇した他、為替市場で主要通貨に対して円安が進行したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

○為替ヘッジあり

当期は、主として米国で保有している株式の株価が上昇したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初より貿易摩擦の緩和を目的とした米中合意により関税が大幅に引き下げられたため、楽観ムードで始まりました。6月も市場が米国と主要貿易相手国（特に中国、EU）との交渉の詳細が示されるのを待つ間、関税に対する懸念が一旦後退したことを背景に続伸しました。7月も投資家心理の改善と米国の貿易・財政政策の明確化を背景に堅調に推移しました。9月も米連邦準備制度理事会（FRB）が9か月ぶりに25bpsの利下げに踏み切ったことがリスク資産の追い風となり、情報技術セクターが株式市場の上昇を牽引しました。FRBは金融緩和の根拠として労働市場の軟化とインフレ鈍化を挙げ、ドットチャート（FOMC参加者の政策金利見通し）は年末までに2回の追加利下げがあることを示しています。10月も引き続き堅調に推移しました。また、米国市場も堅調な伸びとなりました。これは、FRBが10月29日に2回連続となる利下げを実施し、政策金利を25bps引き下げるとともに、量的引き締めを12月1日で終了すると発表したことなどによるものです。こうした政策転換により、フィンテック企業にとってはより有利な環境が生まれることが考えられます。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の145円台から期末には153円台となり、ユーロ・円レートは期初の163円台から期末には177円台となりました。

当期は、米ドルは自国景気の底堅さや日米金利差の拡大から、ユーロはドイツ連邦議会が9月に年間予算を承認して経済再生のための投資を確保するなど積極財政へ方針転換したことにより財政拡張の期待から米ドル・ユーロに対して円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではショッピングファイやビザのような大型株からワイズやフィネコバンク・バンカ・フィネコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、米国の決済サービス企業シフト4・ペイメントズを一部売却しました。これは、決算が予想を下回り株価が大きく下落したファイサーブ（当ファンドでは非保有）からの波及リスクの可能性を考慮したためです。その売却代金で米国のデジタル・バンキング・プラットフォーム会社ソーファイ・テクノロジーズを新規に組み入れました。同社は資本負担の軽い（キャピタルライト）手数料ベースのビジネスモデルへの転換を着実に進めており、そのことは好調な決算に表れています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第15期
		2025年5月13日～2025年11月10日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		10,489

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第15期
		2025年5月13日～2025年11月10日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		5,446

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2025年5月13日～2025年11月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.286%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は20,111円です。
（投 信 会 社）	(55)	(0.274)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.025	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(5)	(0.025)	
そ の 他 費 用	3	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.011)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	65	0.326	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2025年5月13日～2025年11月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	51,143	100,000	775,062	1,630,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2025年5月13日～2025年11月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	8,309,785千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	14,866,371千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.55

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2025年5月13日～2025年11月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2025年5月13日～2025年11月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2025年11月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 6,964,209	千口 6,240,290		千円 13,344,236

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	13,344,236	99.3
コール・ローン等、その他	96,043	0.7
投資信託財産総額	13,440,279	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（13,973,890千円）の投資信託財産総額（14,585,836千円）に対する比率は、95.8%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=153.93円、1シンガポールドル=118.18円、1英ポンド=202.37円、1スウェーデンクローナ=16.14円、1メキシコペソ=8.348円、1南アフリカランド=8.89円、1ユーロ=177.85円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	13,440,279,456円
コール・ローン等	56,043,055
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	13,344,236,401
未 収 入 金	40,000,000
(B) 負 債	40,518,895
未 払 信 託 報 酬	39,914,995
そ の 他 未 払 費 用	603,900
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	13,399,760,561
元 本	6,539,811,750
次 期 繰 越 損 益 金	6,859,948,811
(D) 受 益 権 総 口 数	6,539,811,750口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,490円

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 期首元本額     | 7,274,403,415円 |
| 期中追加設定元本額    | 106,303,767円   |
| 期中一部解約元本額    | 840,895,432円   |
| 2. 1口当たり純資産額 | 2.0490円        |

■損益の状況

当期（自 2025年5月13日 至 2025年11月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	101,155円
受 取 利 息	101,155
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,330,925,239
売 買 益	1,460,676,743
売 買 損	△ 129,751,504
(C) 信 託 報 酬 等	△ 40,518,895
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,290,507,499
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	4,369,347,168
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,200,094,144
(配 当 等 相 当 額)	( 1,086,036,035)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 114,058,109)
(G) 計 (D+E+F)	6,859,948,811
次 期 繰 越 損 益 金(G)	6,859,948,811
追 加 信 託 差 損 益 金	1,200,094,144
(配 当 等 相 当 額)	( 1,086,467,547)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 113,626,597)
分 配 準 備 積 立 金	5,659,854,667

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（60,801,373円）、費用控除後の有価証券等損益額（830,489,825円）、信託約款に規定する収益調整金（1,200,094,144円）および分配準備積立金（4,768,563,469円）より分配対象収益は6,859,948,811円（10,000口当たり10,489.52円）ですが、当期に分配した金額はありません。

■ 1万口当たりの費用明細（2025年5月13日～2025年11月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.286%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は12,569円です。
（投 信 会 社）	(34)	(0.274)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	( 0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	( 1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.024	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	( 3)	(0.024)	
そ の 他 費 用	23	0.183	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(19)	(0.153)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	( 4)	(0.029)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	62	0.493	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2025年5月13日～2025年11月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	—	—	164,142	340,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2025年5月13日～2025年11月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	8,309,785千円	
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	14,866,371千円	
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.55	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2025年5月13日～2025年11月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2025年5月13日～2025年11月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2025年11月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 726,167	千口 562,025		千円 1,201,835

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	1,201,835	98.5
コール・ローン等、その他	18,099	1.5
投資信託財産総額	1,219,934	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（13,973,890千円）の投資信託財産総額（14,585,836千円）に対する比率は、95.8%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=153.93円、1シンガポールドル=118.18円、1英ポンド=202.37円、1スウェーデンクローナ=16.14円、1メキシコペソ=8.348円、1南アフリカランド=8.89円、1ユーロ=177.85円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,353,611,838円
コール・ローン等	17,504,636
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	1,201,835,168
未 収 入 金	1,134,272,034
(B) 負 債	1,147,816,451
未 払 金	1,142,055,254
未 払 信 託 報 酬	3,749,297
そ の 他 未 払 費 用	2,011,900
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,205,795,387
元 本	989,190,057
次 期 繰 越 損 益 金	216,605,330
(D) 受 益 権 総 口 数	989,190,057口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,190円

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 期首元本額     | 1,154,301,512円 |
| 期中追加設定元本額    | 8,041,818円     |
| 期中一部解約元本額    | 173,153,273円   |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1,219円         |

■損益の状況

当期(自 2025年5月13日 至 2025年11月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	29,827円
受 取 利 息	29,827
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	35,543,409
売 買 益	187,814,204
売 買 損	△152,270,795
(C) 先 物 取 引 等 損 益	△ 130,072
取 引 益	1,767,380
取 引 損	△ 1,897,452
(D) 信 託 報 酬 等	△ 6,005,584
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	29,437,580
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	91,729,865
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	95,437,885
(配 当 等 相 当 額)	( 131,804,317)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 36,366,432)
(H) 計 (E+F+G)	216,605,330
次 期 繰 越 損 益 金(H)	216,605,330
追 加 信 託 差 損 益 金	95,437,885
(配 当 等 相 当 額)	( 131,811,160)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 36,373,275)
分 配 準 備 積 立 金	406,977,649
繰 越 損 益 金	△285,810,204

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,070,357円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(131,811,160円)および分配準備積立金(401,907,292円)より分配対象収益は538,788,809円(10,000口当たり5,446.77円)ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリ*に運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>*（2024年11月1日よりアクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の拠点を変更）</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

# アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日：2025年5月12日）

（計算期間 2024年5月11日～2025年5月12日）

■最近5期の運用実績

決算期	基準 額	騰落率		株組 入比率	純資 産額
		期騰	中率		
	円		%	%	百万円
3期(2021年5月10日)	15,656		49.4	96.1	56,035
4期(2022年5月10日)	12,508	△	20.1	95.9	26,535
5期(2023年5月10日)	13,737		9.8	96.8	23,051
6期(2024年5月10日)	17,961		30.7	95.9	19,474
7期(2025年5月12日)	19,256		7.2	97.2	14,808

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

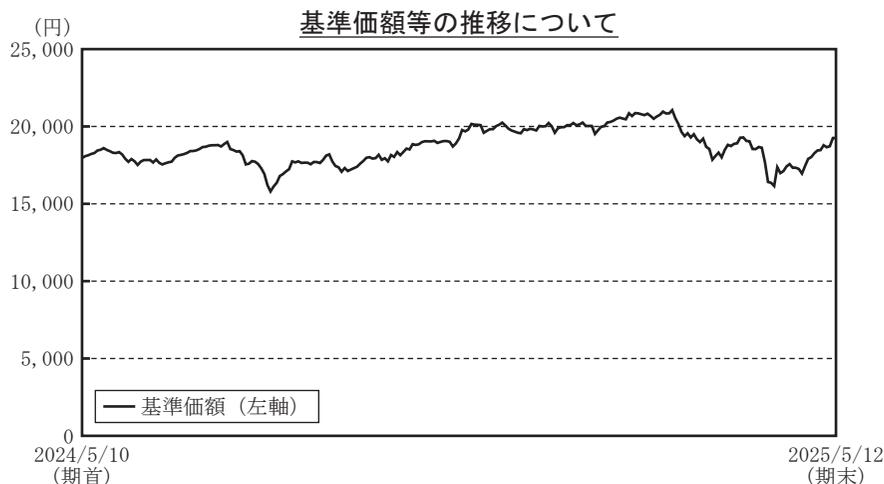
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準 額	騰落率		株組 入比率
		騰	落率	
(期首) 2024年5月10日	円 17,961		% —	% 95.9
5月末	17,713	△	1.4	94.9
6月末	18,407		2.5	94.8
7月末	17,567	△	2.2	96.4
8月末	17,841	△	0.7	95.8
9月末	17,845	△	0.6	94.9
10月末	19,007		5.8	96.1
11月末	19,740		9.9	97.6
12月末	20,078		11.8	96.0
2025年1月末	20,863		16.2	98.0
2月末	19,288		7.4	94.9
3月末	18,543		3.2	98.2
4月末	18,447		2.7	97.6
(期末) 2025年5月12日	円 19,256		% 7.2	% 97.2

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2024年5月11日～2025年5月12日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初より予想を上回る企業業績や人工知能（AI）への高い期待に支えられて株価は上昇し、6月も引き続き堅調に推移しました。8月に入ると日銀の積極的な利上げ姿勢を受けたキャリートレードの巻き戻しで日本市場が急落したのを皮切りに、欧米でもマクロ経済のシナリオがソフトランディングからハードランディングに変化するかもしれないとの見方から、下落基調が続きました。しかしながら、月後半にかけては不安材料は概ね後退し、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が9月利下げ開始を示唆する発言などを受けて株価は上昇に転じました。9月に入ると、雇用の減速とインフレの鈍化を示す最近の経済指標に対応してFRBは予想を上回る50ベースポイントの利下げに踏み切りました。この様な状況下、株価は引き続き上昇しましたが、10月に入ると米大統領選挙を前に投資家が守りに入り、FRBによる大幅利下げの期待が堅調な経済指標により後退したため、株価は下落しました。11月に入るとドナルド・トランプ氏が米大統領選挙に勝利したことによって税率の引き下げ、規制緩和および成長促進の政策が見込まれ、経済活動および企業収益を支援すると見られることから、市場から好意的に受け止められて上昇しました。12月に入ると再び下落基調になりましたが、2024年の株式市場は、時価総額の大きいテクノロジー株に大きく牽引された米国株を始めとして、堅調なリターンを示しました。2025年は米国を中心に時価総額の大きいテクノロジー株に大きく牽引され堅調なリターンを示した昨年の流れを引き継ぎ、幸先のいいスタートを切りました。2月に入ると地政学的緊張の高まりや貿易政策を巡る不確実性を背景に、グローバル市場では不安定な動きが目立ちました。米政府による主要な貿易相手国への関税導入の可能性やインフレ懸念の高まりが投資家心理を圧迫し、株価は下落に転じました。3月も激化する貿易摩擦や強弱入り混じる経済指標により、4月もグローバル株式市場の不安定な動きにより引き続き下落しましたが、期を通じて上昇となりました。

## ○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の155円台から期末には145円台となり、ユーロ・円レートは期初の167円台から期末には163円台となりました。

当期は、米ドルはトランプ政権の関税政策の不透明感による米国長期金利の低下や景気減速懸念から、ユーロは欧州中央銀行（ECB）が2025年1月に主要政策金利の0.25%引き下げを決定したことや、ユーロ圏経済への懸念等から米ドル・ユーロに対して円高が進行しました。

## 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からサイバーアーク・ソフトウェアやフィネコバンク・バンカ・フィネコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、欧州の銀行と決済業界へのエクスポージャーを削減し、フランスの大手銀行ソシエテ・ジェネラルと汎欧州の決済サービス会社ネクシィを全売却しました。その売却代金で米国の銀行JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーと金融サービス企業ブロックを再買付しました。一方で、米国のフードサービステクノロジー企業PARテクノロジーを新規で組み入れました。同社は、ファーストフード店や最近ではコンビニ店舗向けにソフトウェアや決済ソリューション基盤を開発しています。運用チームが実施した経営陣とのミーティングの良好な結果を経て、同社がマクロ経済の不確実性にもかかわらず自らの戦略を実行し続ける能力を備えているとの確信を得ました。また、カナダの多国籍eコマース企業ショッピファイも新たに組み入れました。同社は世界で200万社以上のオンライン販売業者を支援する大手eコマース・プラットフォームであり、信頼性の高い決済ソリューションとインフラを通じて取引を促進しています。

## 【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

## 【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7円 ( 7 )	0.035% (0.035)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	7 ( 7 )	0.037 (0.037)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	13	0.072	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 「比率」欄は、「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額 (18,714円) で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2024年5月11日～2025年5月12日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 24.1	千円 65,348	千株 23.1	千円 106,322
	外 国	百株 2,551.05 (83.41)	千米ドル 15,853 (-)	百株 7,985.64	千米ドル 26,784
	シンガポール	74	千シンガポールドル 338	223	千シンガポールドル 853
	イギリス	1,176.45	千英ポンド 1,219	1,442.05	千英ポンド 3,196
	スウェーデン	1,157.12	千スウェーデンクローナ 7,387	2,903.3	千スウェーデンクローナ 39,401
	メキシコ	-	千メキシコペソ -	821	千メキシコペソ 12,236
	インドネシア	-	千インドネシアルピア -	9,778	千インドネシアルピア 9,634,608
	ブラジル	-	千ブラジルリアル -	13,129	千ブラジルリアル 7,382
	南アフリカ	-	千南アフリカランド -	32.12	千南アフリカランド 8,874
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
国	オランダ	6.51	945	850.62	1,488
	フランス	-	-	1,591.63	4,351
	ドイツ	-	-	126.65	2,799

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	ス ペ イ ン	—	—	1,557.62	811
	イ タ リ ア	—	—	4,929.12	4,103
	オ ー ス ト リ ア	—	—	146.65	809

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	11,373,371千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	15,633,499千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.72

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄 (2024年5月11日～2025年5月12日)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BLOCK INC	26.664	352,800	13,231	HYPOPORT SE	12.665	468,608	37,000
JPMORGAN CHASE & CO.	8.4	315,563	37,567	VISA INC.	9.004	410,097	45,546
WISE PLC - A	117.645	233,878	1,987	STONECO LTD-A	223.053	405,950	1,819
BILL HOLDINGS INC	29.524	225,396	7,634	SOCIETE GENERALE-A	99.574	403,263	4,049
ROBINHOOD MARKETS INC - A	33.17	224,575	6,770	NORDNET AB PUBL	108.379	358,704	3,309
SEA LTD-ADR	12.731	222,948	17,512	EXPERIAN PLC	48.921	350,588	7,166
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	4.845	219,874	45,381	FINECOBANK SPA	129.048	338,581	2,623
SHOPIFY INC - CLASS A	16.666	191,507	11,490	GLOBAL PAYMENTS INC	20.834	333,377	16,001
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	91.874	173,068	1,883	NEXI SPA	363.864	330,981	909
ADYEN NV	0.651	154,070	236,667	PAYONEER GLOBAL INC	232.698	318,645	1,369

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2024年5月11日～2025年5月12日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年5月11日～2025年5月12日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2025年5月12日現在）

(1) 国内株式

銘柄	前期末 株数	当期末	
		株数	評価額
	千株	千株	千円
情報・通信業（100.0%）			
GMOペイメントゲートウェイ	37.3	29.3	269,442
フリー	64.2	73.2	297,558
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	101.5 2	102.5 2 <3.8%>

(注1) 銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末 株数	当期末		業種等
		株数	評価額	
			外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル 千円	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	130.53	102.19	3,673 536,232	ソフトウェア・サービス
AFFIRM HOLDINGS INC	—	103.09	478 69,833	金融サービス
BILL HOLDINGS INC	—	263.22	1,177 171,812	ソフトウェア・サービス
BLACKLINE INC	219.54	171.86	914 133,525	ソフトウェア・サービス
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	—	48.45	965 140,954	金融サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	98.53	69.8	2,865 418,289	ソフトウェア・サービス
FLYWIRE CORP-VOTING	622.4	—	— —	金融サービス
FISERV INC	312.02	231.37	4,258 621,618	金融サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	208.34	—	— —	金融サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	291.49	205.93	3,672 536,016	金融サービス
INTUIT INC	35.38	34.01	2,223 324,592	ソフトウェア・サービス
JPMORGAN CHASE & CO.	—	84	2,125 310,292	銀行
MERCADOLIBRE INC	25.37	20.46	5,012 731,653	一般消費財・サービス流通・小売り
PALO ALTO NETWORKS INC	115.76	140.11	2,619 382,280	ソフトウェア・サービス
PAR TECHNOLOGY CORP/DEL	—	134	867 126,603	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PAYLOCITY HOLDING CORP	105.39	89.98	1,751 255,590	商業サービス・用品
PAYPAL HOLDINGS INC	350.13	241.25	1,695 247,405	金融サービス
PAYONEER GLOBAL INC	4,796.47	2,469.49	1,637 238,976	金融サービス
ROBINHOOD MARKETS INC - A	—	331.7	1,812 264,587	金融サービス
S&P GLOBAL INC	84.96	66.5	3,376 492,820	金融サービス

銘柄		前期末	当	期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
SEA LTD-ADR		—	127.31	1,771	258,608	メディア・娯楽
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A		458.61	323.98	2,771	404,455	金融サービス
SHOPIFY INC - CLASS A		—	166.66	1,529	223,236	ソフトウェア・サービス
BLOCK INC		—	266.64	1,342	195,994	金融サービス
VISA INC.		199.85	109.81	3,871	565,046	金融サービス
WEX INC		185.4	83.48	1,059	154,636	金融サービス
WORKDAY INC-CLASS A		63.03	70.43	1,825	266,436	ソフトウェア・サービス
WORKIVA INC		332.12	287.26	1,941	283,310	ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC		114.91	98.08	2,285	333,643	ソフトウェア・サービス
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A		1,088.36	1,686.94	2,164	315,907	銀行
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A		1,310.06	—	—	—	金融サービス
STONECO LTD-A		2,230.53	—	—	—	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	13,379.18 23	8,028 28	61,690 —	9,004,359 <60.8%>	
(シンガポール)				千シンガポールドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD		1,034	885	3,868	434,955	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	1,034 1	885 1	3,868 —	434,955 <2.9%>	
(イギリス)				千英ポンド		
GB GROUP PLC		4,094.22	3,247.02	904	175,388	ソフトウェア・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		349.61	243.97	2,756	534,693	金融サービス
EXPERIAN PLC		1,369.44	880.23	3,375	654,713	商業サービス・用品
WISE PLC - A		—	1,176.45	1,222	237,071	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	5,813.27 3	5,547.67 4	8,259 —	1,601,865 <10.8%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ		
NORDNET AB PUBL		1,954.34	870.55	22,721	341,501	金融サービス
FORTNOX AB		2,329.65	1,667.26	14,488	217,761	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	4,283.99 2	2,537.81 2	37,209 —	559,263 <3.8%>	
(メキシコ)				千メキシコペソ		
GRUPO FINANCIERO BANORTE-0		3,775	2,954	47,798	359,044	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	3,775 1	2,954 1	47,798 —	359,044 <2.4%>	
(インドネシア)				千インドネシアルピア		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT		45,020	35,242	31,717,800	282,288	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	45,020 1	35,242 1	31,717,800 —	282,288 <1.9%>	
(ブラジル)				千ブラジルリアル		
CIELO SA		13,129	—	—	—	金融サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数<比 率>	13,129 1	— —	— —	— <—>	

銘柄	株数	前期末	当 期 末		業 種 等
			株数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(南アフリカ)		百株	百株	千南アフリカランド	千円
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD		147.86	115.74	39,588	317,104
銀行					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	147.86 1	115.74 1	39,588 -	317,104 <2.1%>
(オランダ)				千ユーロ	
ADYEN NV		7.97	12.77	2,022	331,508
金融サービス					
ING GROEP NV-CVA		848.91	-	-	-
銀行					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	856.88 2	12.77 1	2,022 -	331,508 <2.2%>
(フランス)				千ユーロ	
SOCIETE GENERALE-A		995.74	-	-	-
銀行					
EDENRED		595.89	-	-	-
金融サービス					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,591.63 2	- -	- -	- <->
(ドイツ)				千ユーロ	
HYPOPORT SE		126.65	-	-	-
金融サービス					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	126.65 1	- -	- -	- <->
(スペイン)				千ユーロ	
BANCO SANTANDER SA		3,919.7	2,362.08	1,571	257,614
銀行					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,919.7 1	2,362.08 1	1,571 -	257,614 <1.7%>
(イタリア)				千ユーロ	
NEXI SPA		3,638.64	-	-	-
金融サービス					
FINECOBANK SPA		2,716.22	1,425.74	2,598	425,957
銀行					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,354.86 2	1,425.74 1	2,598 -	425,957 <2.9%>
(オーストリア)				千ユーロ	
ERSTE GROUP BANK AG		370.99	224.34	1,565	256,696
銀行					
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	370.99 1	224.34 1	1,565 -	256,696 <1.7%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	13,220.71 9	4,024.93 4	7,758 -	1,271,777 <8.6%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	99,803.01 42	59,335.15 42	- -	13,830,660 <93.4%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	14,397,661	97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	451,246	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	14,848,907	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(14,184,108千円)の投資信託財産総額(14,848,907千円)に対する比率は、95.5%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=145.96円、1シンガポールドル=112.44円、1英ポンド=193.95円、1スウェーデンクローナ=15.03円、1メキシコペソ=7.511円、100インドネシアルピア=0.89円、1南アフリカランド=8.01円、1ユーロ=163.93円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	14,848,907,671円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	297,615,200
株 式(評価額)	14,397,661,454
未 収 入 金	148,906,876
未 収 配 当 金	4,724,141
(B) 負 債	40,000,000
未 払 解 約 金	40,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	14,808,907,671
元 本	7,690,377,399
次 期 繰 越 損 益 金	7,118,530,272
(D) 受 益 権 総 口 数	7,690,377,399口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,256円

- 期首元本額 10,842,445,105円  
期中追加設定元本額 640,556,323円  
期中一部解約元本額 3,792,624,029円
- 1口当たりの純資産額 1,9256円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額  
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(為替なし) 6,964,209,737円  
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(為替あり) 726,167,662円  
期末元本合計 7,690,377,399円

■損益の状況

(2024年5月11日～2025年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	237,994,445円
受 取 配 当 金	215,039,063
受 取 利 息	22,900,138
そ の 他 収 益 金	55,244
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	992,842,492
売 買 益	3,079,306,742
売 買 損	△2,086,464,250
(C) そ の 他 費 用	△ 6,029,894
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,224,807,043
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,631,655,523
(F) 解 約 差 損 益 金	△3,327,375,971
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	589,443,677
(H) 計 (D+E+F+G)	7,118,530,272
次 期 繰 越 損 益 金(H)	7,118,530,272

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。